

令和3年度
みやぎ東日本大震災津波伝承館
運営報告



令和4年6月

宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課

目次

はじめに	- 1 -
伝承館の1年の動き等	- 2 -
1 来館者の状況	- 3 -
(1) 来館者数の状況.....	- 3 -
(2) 団体予約の状況.....	- 4 -
(3) 来館者アンケートの状況	- 5 -
2 展示運営の状況.....	- 9 -
(1) 常設展示.....	- 9 -
(2) 企画展示.....	- 11 -
3 誘客行事等の状況	- 13 -
4 情報発信（広報宣伝）の状況	- 16 -
5 関係団体との連携の状況	- 18 -
6 その他	- 22 -
(参考) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要	- 24 -

はじめに

みやぎ東日本大震災津波伝承館（以下「伝承館」という。）は、令和3年3月28日に開館予定であったが、県内における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当面の間開館を見合わせることを決定した。その際、石巻南浜津波復興祈念公園（以下「公園」という。）は予定どおり、3月28日に開園した。

その後、6月5日に関係者を招いた内覧会の開催後、6月6日に開館式典を実施の上、開館することとなった。

開館にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響が、当面続くものと思われることから、来館者が安心安全に見学できるよう、感染予防対策を徹底した。

開館初年度にあたる令和3年度は、東日本大震災発生から10年が過ぎ、震災の風化が懸念される中、「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」として、展示解説を通じ、次なる災害への備えを確かなものにできるよう、全国、世界、そして次世代の人々となつたり、発信と交流に努めた。

運営にあたっては、令和3年4月に宮城県が策定した「東日本大震災の記憶・教訓の伝承に関する基本方針」で基本理念としている「東日本大震災の経験や復旧・復興の過程、そこからの教訓を現在（いま）、そして未来に伝え続ける」、「一人ひとりがかけがえのない大切な命を守り、災害時に『自らの命を守る行動』が実行できる社会をつくる」に基づき、石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会（以下「協議会」という。）、地元住民、展示出演者を中心とした県内伝承団体のほか、国、市町村、観光担当部局等の関係機関と連携し、県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を担ってゆくことを見据え、企画展示や誘客行事、情報発信等を開始した。

令和3年6月7日 河北新報朝刊

「石巻市の石巻津波復興祈念公園内の」みやぎ東日本大震災津波伝承館が6日、開館した。祈りの場として整備された一帯の中核的施設として震災の記憶・教訓を後世に伝える。

津波の恐ろしさや避難するなどの大切さを訪ねる約40人が来館。地元町内で知るシスターリリア余の本間英一（会長）は「すっきりした展示で内容がわかりやすい」と感じ、開館に先立つ式典には関係者ら約40人が出席。市民

「石巻津波伝承館開館」

「土地の記憶語り継ぐ 自宅被災 解説員の草島さん」

「津波の恐ろしさや伝えるパネル展示に見入る来館者」

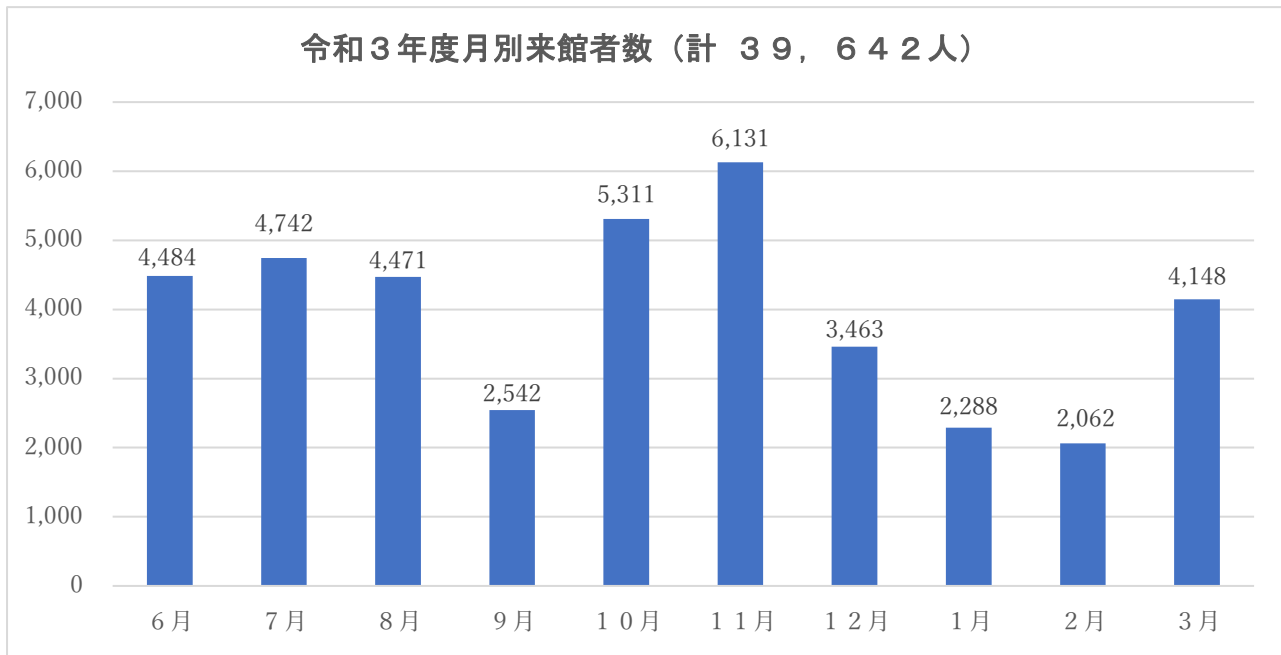
「伝承館は県内津波が約40分の力で再び低層半壊延べ床面積約1500平方メートルを削減した。公設の展示場が整備される。協議会が運営する。開館式典は3日、新田三郎オウリスの影で延期していた。地中、高層、復興の被災者が遺棄する震災伝承施設の中で最後の開館となった。」

伝承館の1年の動き等

令和3年度	伝承館の主な動き	(参考) 県内の主な震災伝承施設の動き等
4月		3日 「道の駅おながわ」開業
5月		
6月	5日 内覧会 6日 開館	19日～21日 県内各地で東京2020オリンピックの聖火リレーが行われる
7月	28日 臨時休館 (P3 ※2)	18日 「石巻市震災遺構大川小学校」開場(石巻市)
8月	4日 来館者1万人達成 28日～翌月12日 臨時休館 (P3 ※3)	16日 震災遺構仙台市立荒浜小学校 来館者30万人達成
9月		
10月	10日 伝承館と祈念公園「南浜・門脇ツアー」開催 24日 伝承館と石巻市震災遺構モニターツアー開催	3日 「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」開催(石巻市)
11月	3日 伝承館と防災学習「ツナミリアル」開催 7日 伝承館と祈念公園「ガイドウォーク」開催	21日 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 来館者15万人達成
12月	21日～翌月14日 女川町パネル展	
1月	16日 臨時休館 (P3 ※4)	
2月	26日 「復興五輪を振り返る！聖火ランナーによる座談会」開催	
3月	11日 「みやぎ鎮魂の日」 15日～31日 東松島市パネル展 17日～29日 臨時休館 (P3 ※5)	5日 仙台防災未来フォーラム2022開催(仙台市) 11日 「みやぎ鎮魂の日」 31日 石巻市復興まちづくり情報交流館「中央館」閉館

1 来館者の状況

(1) 来館者数の状況



令和3年度月別来館者数と平均来館者数(単位:人,日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
来館者数(A)	-	-	4,484	4,742	4,471	2,542	5,311	6,131	3,463	2,288	2,062	4,148	39,642
開館日数(B)	-	-	21	26	23	14	25	23	24	23	23	16	218
平均来館者数(A/B)	-	-	214	182	194	182	212	267	144	99	90	259	182

※1 令和3年6月6日に開館。

※2 台風接近の影響により、7月28日を臨時休館日とした。

※3 新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急事態宣言により、8月28日から9月12日まで臨時休館日とした。(宮城県内を対象とした緊急事態宣言は8月27日から9月12日までだったが、団体予約の状況に鑑みて8月28日から休館としたもの。)

※4 津波注意報による避難指示のため、1月16日を臨時休館日とした。

※5 地震による壁面ガラス破損等により、3月17日から3月29日まで臨時休館日とした。

※6 日別最多入館者数：1,296人（3月11日）

令和3年度平日、土日祝日別来館者数(単位:人,日)

	平日	土日・祝日	計
来館者数(A)	19,998	19,644	39,642
開館日数(B)	139	79	218
平均来館者数(A/B)	144	249	182

年度前半は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者は伸び悩んだが、10月以降、感染状況が落ち着き、修学旅行や観光ツアー等の団体利用の増加に伴い、来館者も増加した。12月以降は、学校の利用の減少に伴い、来館者が大幅に減少したが、3月11日前後は、来館者が再び増加した。

(2) 団体予約の状況

令和3年度区分別団体予約件数(単位:件,人)

		予約件数			人数		
		県内	県外	計	県内	県外	計
学校	小学校	5	1	6	193	56	249
	中学校	3	6	9	126	445	571
	高等学校	3	24	27	37	2,283	2,320
	大学	6	12	18	143	121	264
	計	17	43	60	499	2,905	3,404
学校以外	観光ツアー	48	6	54	667	97	764
	海外(観光含む)	0	1	1	0	136	136
	取材・報道	3	1	4	59	3	62
	国(省庁, 議員)	10	8	18	102	53	155
	地方自治体	17	10	27	298	56	354
	議会(県外)	-	6	6	-	53	53
	宮城県(部局, 県議会)	10	-	10	195	0	195
	その他	87	44	131	1,345	527	1,872
	計	175	76	251	2,666	925	3,591
合計		192	119	311	3,165	3,830	6,995

学校では、県外の高等学校の利用が突出して多い。一方、県内の小中学校の利用が少なかった。学校以外では、県内の観光ツアーでの利用が最も多く、次いで県内の地方自治体の利用が多かった。

令和3年度都道府県別団体予約件数(単位:件,人)

	件数	人数		件数	人数		件数	人数
北海道	8	306	千葉県	2	30	京都府	1	6
青森県	2	39	東京都	33	546	大阪府	2	13
岩手県	7	94	神奈川県	10	106	兵庫県	6	49
宮城県	195	3,206	新潟県	2	24	福岡県	1	14
山形県	3	131	石川県	1	10	佐賀県	1	49
福島県	2	174	山梨県	2	129	熊本県	2	6
茨城県	7	436	長野県	1	56	鹿児島県	1	8
栃木県	5	709	岐阜県	1	7	沖縄県	1	136
群馬県	4	211	静岡県	2	82	合計	311	6,995
埼玉県	6	393	愛知県	3	25			

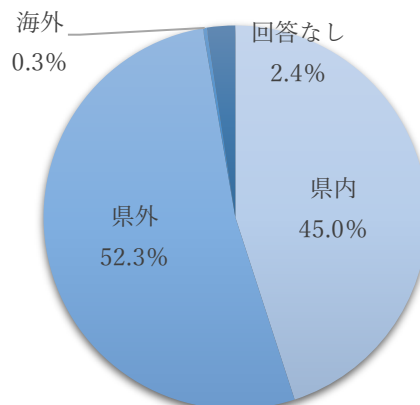
都道府県別にみると、宮城県（195件）が最も多く、東京都（33件）、神奈川県（10件）が続く。

（3）来館者アンケートの状況

館内において来館者に対するアンケート調査を実施。2,098件の回答があった。（回収率5.3%）

① 回答者の居住地(単位:件, %)

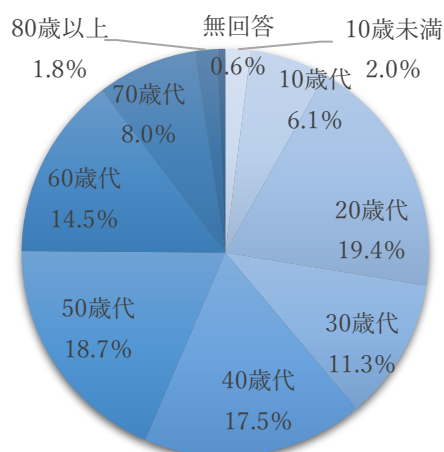
	回答数	割合
県内	944	45.0%
県外	1,097	52.3%
海外	7	0.3%
無回答	50	2.4%
合計	2,098	-



回答者の居住地を見ると、県外が約53%となっており、県内を上回った。

② 回答者の年齢(単位:件, %)

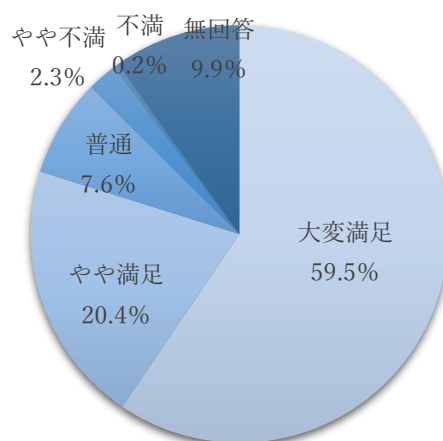
	回答数	割合
10歳未満	42	2.0%
10歳代	129	6.1%
20歳代	408	19.4%
30歳代	237	11.3%
40歳代	368	17.5%
50歳代	392	18.7%
60歳代	305	14.5%
70歳代	167	8.0%
80歳以上	37	1.8%
無回答	13	0.6%
合計	2,098	-



回答者の年齢を見ると、50歳代が最も多く、50歳代以上が全体の約4割を占めている。アンケート回答者が来館者数と一致しているわけではないが、10歳代の回答者が少なくなっており、教育旅行の誘致等による若年層の来館促進が課題となっている。

③ 施設満足度(単位:件, %)

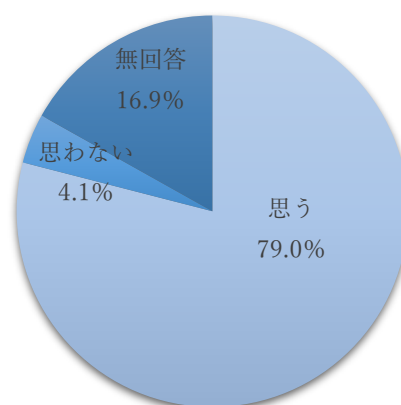
	回答数	割合
大変満足	1,248	59.5%
やや満足	427	20.4%
普通	159	7.6%
やや不満	49	2.3%
不満	8	0.2%
無回答	207	9.9%
合計	2,098	-



施設全体の満足度については、「大変満足」との回答が約6割を占めており、「やや満足」との回答を含めると約8割の方から「満足」との回答があった。

④ 当館を見学して、他の震災伝承施設等へ行ってみたいと思ったか。(単位:件, %)

	回答数	割合
思う	192	79.0%
思わない	10	4.1%
無回答	41	16.9%
合計	243	-



※12/10 から追加した項目であるため、回答の合計数が他の項目と異なる。

約8割の方が行ってみたいと「思う」と回答しており、県内の各震災伝承施設へのゲートウェイとしての一定の役割を果たしているといえる。今後は、来館者に実際に現地に足を運んでいただけるよう、企画展等を通じて各震災伝承施設の紹介に取り組む。

⑤ 展示について(よかった展示・よくなかった展示)(単位:件)※重複回答あり

	よかった	よくなかった
つなぐ記憶	765	24
東日本大震災を知る	994	27
シアター「くり返さないために」	1,435	62
津波から命を守る	774	10
ともにつくる復興	425	10
「語り部」からのメッセージ	735	24
一人ひとりの記憶	470	17
合計	5,598	174

よかった展示(抜粋)

- ・特に、シアター「くり返さないために」がよかった。とても心に刺さる言葉を聞いた。体験した人だから伝えられる言葉は何よりも重い。
- ・これからのことに多く触れられていたため、苦しくなく視聴できた。未来への啓発になっている。
- ・映像により、より具体的に震災をイメージできた。
- ・写真より映像の方が当時の様子がよく伝わった。
- ・逃げるという分かりやすいメッセージが印象的だった。
- ・震災があったという展示だけではなく、経験した人の言葉がよく伝わった。
- ・モニターで一人一人の動画をゆっくり見られるのがよかった。パネルも分かりやすかった。
- ・実際の映像と被災者の方々の言葉が印象に残った。
- ・津波から身を守るためには、「知ること」と「伝えていくこと」が大切であることがよく伝わった。学んだ知識を自分なりに深めていきたい。
- ・震災のメカニズムや津波のメカニズムが図解され、分かりやすかった。
- ・他の同様の施設で体験できないので大変伝わった。
- ・ともにつくる復興の動画では、今の被災地域の状況が分かりやすかった。
- ・どれだけの被害だったのかを目で見て知れた。テレビで見るのとは全く違う思いになった。

よくなかった展示(抜粋)

- ・子ども用の展示もあるといい。
- ・遺物がない。パネル展示だけではもの足りない。
- ・シアターについて、画面が大きく見づらい。明るくて見づらい。
- ・シアターで流す映像のパターンを増やしてほしい。
- ・周囲の音が聞こえ、映像に集中できない。
- ・同じ動画ではなく更新してほしい。
- ・展示が少ない。似たような展示が多い。充実が必要。
- ・映像をもっと増やしてほしい。写真だけでは伝わらないこともある。
- ・証言の映像は量が多くどれを見ればいいのか分からない。
- ・パネル展示の字が細かすぎる。

展示内容についての設問では、肯定的な回答が多かった。特に、シアター等の映像や被災者等の証言映像について、「内容がよく伝わった」の肯定的な回答があった。

一方、「展示内容が少ない」「(シアターの映像が)明るくて見づらい、周囲の音が聞こえ、映像に集中できない」「遺物がない。パネル展示だけではもの足りない」等、展示の充実を求める回答もあった。

⑥ その他, 自由記述欄にいただいたご意見

(開館日・開館時間について)

- ・開館時間を延ばしてほしい。
- ・休館日をなくし, 全日開館してほしい。
- ・他の震災伝承施設(大川小学校)と併せて案内したかったが, 休館日が違って不便。

(施設について)

- ・清掃がしっかりしており大変綺麗だった。
- ・消毒がしっかりされていてよかった。

(職員・スタッフについて)

- ・親切で丁寧な対応だった。
- ・スタッフからの説明が丁寧で分かりやすかった。
- ・展示を読んでいるときは声を掛けないでほしい。

(その他)

- ・駐車場が遠い。駐車場から伝承館の入口まで分かりづらい。
- ・飲食店や買い物ができる場所があるといい。
- ・被災者の証言をHPから閲覧できるようにしてほしい。
- ・広い施設なのでおすすめのコースがあるといい。
- ・周辺も見学コースがあるといい。
- ・公共交通機関の案内をしてほしい。
- ・この施設のことが県民に伝わっていない。PR不足では。
- ・空いているスペースがもったいなく感じた。
- ・来てみて初めて他の伝承施設がたくさんあることを知った。HPやSNSでリンクを貼ることができないか。

2 展示運営の状況

(1) 常設展示

震災伝承に関する展示を通じ、国内外から来館する多くの方々に対し、県内の被災の大きさや復興の状況、語り部や民間団体等の想いを通し津波から命を守るための行動の重要性等を伝える。

そのために、解説員を常時7人配置し、希望する来館者に対し随時展示解説を行ったほか、予約した団体の方に、シアターの席の確保や展示解説を行った。

※ 国土交通省東北地方整備局が整備した展示についても、宮城県で解説した。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について



- ・シアターの座席数の削減
- ・館内の定期的な換気及びアルコール消毒の実施
- ・解説員からの積極的な声かけによる解説の自粛
- ・検温，消毒，マスク着用の励行
- ・みやぎお知らせコロナアプリ（M I C A）の登録

●展示コンセプト

「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」

▲展示内容・特徴

リアルな津波の映像や被災者の証言等により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像をはじめ、県内の震災伝承施設や語り部活動を行う団体等のほか、震災を契機に生まれた地域の復興に関する取組等を紹介するなど、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝える。(映像出演者：79団体90人)

展示構成	展示内容・目的	写真
<p>コンセプトパネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル1枚 ・衣服1式 	<p>東日本大震災による津波に巻き込まれながらも一命を取り留めた、当時石巻市南浜地区にて被災した方が、当時身につけていた衣類及び当時撮影した写真をパネル化し、展示している。</p>	
<p>① つなぐ記憶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編「つなぐ記憶」(約7分) ・待機映像「記憶のまち」(約5分) 	<p>在りし日の情景を映像で映し出し、記憶を誘うシアター。</p>	

<p>② 東日本大震災を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「被害」、「津波」、「地震」の3つのパネルで構成 	<p>観測史上最大級の地震・津波による甚大な被害とその全体像を伝える。</p>	
<p>③ シアター 「くり返さないために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編「くり返さないために」(約11分) ・収容可能人数：約40人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間20人で運用 	<p>ドキュメンタリータッチの演出により、津波から命を守るには“逃げる”しかないことを徹底して訴える。</p>	
<p>④ 津波から命を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面パネル ・窓側パネル ・証言モニター 	<p>“津波から命を守る”ための意識を植え付け、将来の危機に備える行動を強く促す。</p>	
<p>⑤ ともにつくる復興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22の団体をマグネットパネルと55インチモニターにて紹介 	<p>県内各地の団体や企業、様々な人のまちを元気にする取り組みや場所を映像で紹介し、今の「みやぎ」を発信する。</p>	
<p>⑥ 「語り部」からのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18の語り部団体・個人をモニター5台にて紹介 	<p>県内各地の語り部団体の活動の様子を紹介し、震災遺構や伝承施設など、現地へ訪れてもらうきっかけを提示する。</p>	

<p>⑦ 一人ひとりの記憶</p> <p>・「生業」、「共助」、「日常」、「救助」の4テーマで計39人(団体)をモニター4台にて紹介</p>	<p>被災された方の震災当時から現在に至るまでの証言映像を通じ、様々な角度から震災を考えるきっかけを提示する。</p>	
<p>♣ 東日本大震災・緊急対応の記録</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>発災以降の緊急対応の記録と被災物を通じて津波の脅威を伝え、頻発する自然災害への備えについて考えるきっかけを提示する。</p>	
<p>♥ 3.11 伝承ロード</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>東日本大震災の実情と教訓を学ぶことができる「震災伝承施設」を紹介する。</p>	

(2) 企画展示

伝承館内の多目的スペース「思い致す場」において、沿岸市町や伝承団体と連携した期間限定の企画展示を2回実施した。今年度は、伝承館からの周遊を意識し、石巻市の隣接市町である東松島市及び女川町をテーマとしたパネル展を実施した。

第1回 女川町パネル展

日時：令和3年12月21日(火)～令和4年1月14日(金)

内容：女川町の協力により、東日本大震災遺構旧女川交番で壁面展示されている、女川町の被災状況や復興の歩みに関する12枚のパネルの複製を展示した。

また、1月9日(日)に(一社)女川町観光協会事務局次長の阿部真紀子様をお招きし、語り部講話を実施した。



第2回 東松島市パネル展

日時：令和4年3月15日（火）～ 令和4年3月16日（水）

令和4年3月30日（水）～ 令和4年3月31日（木）

※3月16日に発生した地震の影響により、3月17日～29日まで臨時休館

内容：東松島市の協力により、東松島市の被災状況や復興の歩みに関する9枚のパネルを展示した。

また、3月19日（土）には、SAY'S 東松島代表の山縣嘉恵様をお招きし、語り部講話を実施する予定であったが、臨時休館により中止となったことから、代替措置として、語り部動画を作成し、県ホームページに掲載した。

URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/higashimatushima-paneruten.html>



3 誘客行事等の状況

伝承館の来館者増加に向け、他の伝承施設と連携したモニターツアーの実施や、聖火ランナーをされた語り部を招いた座談会を開催するなどした。

(1) 伝承館と祈念公園「南浜・門脇ツアー」

日 時：令和3年10月10日（日）午前9時50分～正午

内 容：（公社）3.11 未来サポートが開発した「津波伝承AR」アプリを活用し、公園を周遊するとともに、伝承館を見学した。

参加者：15人



(2) 伝承館と石巻市震災遺構モニターツアー

日 時：令和3年10月24日（日）

行 程：仙台駅～石巻震災遺構大川小学校～いしのまき元気いちば～伝承館（公園）～仙台駅

参加者：20人



(3) 伝承館と防災学習「ツナミリアル」

日 時：令和3年11月3日(水・祝)

①午前9時50分～正午

②午後1時30分～午後3時30分

内 容：石巻震災伝承の会が防災の研究者と考案した
地震・津波の疑似体験学習プログラムを実施。

参加者：20名



(4) 伝承館と祈念公園「ガイドウォーク」

日 時：令和3年11月7日(日)午前9時50分～正午

内 容：伝承館を見学した後、地元の語り部や公園内で伝承活動をされている方のお話を伺いながら、公園を周遊した。

参加者：20名



(5) 被災地を巡るバスツアー

日 程：令和3年11月～令和4年2月(計16回)

行 程：仙台駅～シーパルピア女川・メモリアルゾーン～みやぎ東日本大震災津波伝承館
～東松島市震災復興伝承館～仙台駅

参加者：計217人



（6）「復興五輪を振り返る！聖火ランナーによる座談会」

日時：令和4年2月26日（土）午前11時～正午

出演者：鈴木典行 さん（大川伝承の会共同代表）

黒澤健一 さん（がんばろう！石巻の会事務局長）

佐々木清和 さん（閑上中学校遺族会）

田村孝行 さん（一般社団法人健太いのちの教室代表理事）

武山ひかる さん（Te11～子どもの目線から伝える被災地～）

内容：昨年開催された東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の理念の一つとして、「復興五輪」が掲げられた。

今回、改めて復興五輪の理念を伝えるとともに、東日本大震災の記憶と教訓を伝え継ぐため、聖火ランナーとして復興五輪の活動を支援していただいた方々を集め、聖火ランナーとして走られた感想、今後の震災伝承活動への思いなどを話していただいた。

なお、座談会の動画を県ホームページに掲載した。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/hukkougorin-zadankai.html>

令和4年3月2日 河北新報朝刊

昨年6月に県内で実施された東京五輪聖火リレーでランナーを務めた東日本大震災の語り部らによる座談会が2月26日、石巻市の「みやぎ東日本大震災津波伝承

聖火ランナーの思い共有 石巻 震災語り部ら座談会



聖火ランナーを務めた思いを語る出席者

館」であった。震災伝承の取り組みを進める狙いで県が企画し、5人が当時の思いを語り合った。
市の震災遺構大川小で語り部を続ける「大川伝承の

会」の鈴木典行共同代表は「（震災で犠牲となった）次女と一緒に走りたかった。大川小のことを知らない人にも伝えられたらと考えた」と応募理由を語った。

「がんばろう！石巻の会」の黒沢健一事務局長は「自分たちが復興をつくり上げるといふ思いで走った」と振り返った。

今後の伝承活動についても話題となり、閑上中遺族会の佐々木清和さんは「災害だけでなく事故の遺族も多い。つながりを大切にしながら岩手、宮城、福島3県との連携も深められたい」と話した。
会場には聖火リレーのトーチが展示された。

4 情報発信（広報宣伝）の状況

(1) パンフレットの作成

来館者用に日本語のほか、英語、中国語（繁体語、簡体語）、韓国語のパンフレットを作成した。



(2) 報道機関への情報提供によるパブリシティ

県政記者クラブ等への情報提供を通じて、県内向け報道の充実を図った。

(3) ホームページによる情報発信

伝承館の常設展示・企画展示、利用案内のほか、団体予約受付の案内等を掲載した。

(4) 伝承館紹介動画制作

伝承館のPRのため、約4分間及び約90秒間の2つの紹介動画を作成した。また、約4分間の紹介動画については、県HPに掲載している。



(5) SNSによる情報発信

Twitter ページを開設し、開館情報や予約状況等について随時発信した。

R4. 3. 31 時点

媒体	投稿数	フォロワー数
Twitter	56	119

(6) 各種情報誌等への掲載

< 県関係 >

- ・みやぎ県政だより 令和3年7・8月号
- ・河北ウイークリーせんだい（7月8日号）
- ・私たちの宮城県2022
- ・みやぎ・復興の歩み11
- ・みやぎ復興のたび
- ・いしのまき地域だより（第15号）

< その他（当館が原稿提供したものに限る） >

- ・みやぎ防災ガイド2022年版【河北新報出版センター】
- ・Let's みやぎ2021-22【河北新報出版センター】
- ・宮城ふるさとBOOK 東日本大震災10年特別号【河北新報出版センター】
- ・ようこそ仙台ホテからゴー2021年5・6月号【河北新報社】
- ・ようこそ仙台ホテからゴー2022年3・4月号【河北新報社】
- ・仙台闊歩2022年3月号【株式会社プレスアート】
- ・月刊教育旅行2021年9月号【公益財団法人日本修学旅行協会】
- ・宮城県教育旅行ガイドブック（差し込みチラシ）【公益社団法人宮城観光連盟】
- ・るるぶ仙台松島宮城'23【JTBパブリッシング】
- ・消防防災の科学146号（2021年秋号）【一般財団法人消防防災科学センター】
- ・伝承ロード「縁」Vol. 1（2021年12月発行）
【一般財団法人3.11伝承ロード推進機構】
- ・博物館研究(令和4年5月号)【日本博物館協会】
- ・展示学Vol. 63（2021年4月発行）【日本展示学会】
- ・河北新報特別広告（2022年3月29日朝刊）

(7) グッズ作成

11月5日「世界津波の日」「津波防災の日」にあわせ、取手付きクリアファイル15,000部及び防災ホイッスル5,000個を作成し、予約団体等の来館者に配布した。



5 関係団体との連携の状況

(1) 公園関係者との連携

公園関係の官民で構成される「石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会」の総会、伝承部会をはじめとする各部会に参加し、情報共有、意見交換等を実施した。

(2) 県内伝承団体・伝承施設・市町村等との連携

県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を果たせるよう、県内伝承団体・市町村と情報共有を密にするとともに、提供いただいたチラシ及び冊子について、伝承館に配架し、来館者に提供した。

また、震災伝承ネットワーク協議会の「伝承施設登録」において第3分類に登録されている施設に施設紹介動画の提供を依頼し、協力いただいた施設の動画を令和4年3月5日（土）に開催された仙台未来防災フォーラムの会場内で放映し、伝承施設のPRを実施した。



「仙台未来防災フォーラム」の様子

(3) 大学との連携

伝承館が、県内震災伝承の拠点となるよう、東北大学（災害科学国際研究所）との共同研究により、県内伝承団体及び伝承施設等と意見交換を実施したほか、令和3年12月13日（月）に伝承館において、『みやぎ震災伝承』官民合同研修会を開催した。

また、令和3年10月15日（金）に実施されたデジタルアーカイブ学会と東北大学災害科学国際研究所共催の「第6回デジタルアーカイブ研究大会 in 仙台」において、伝承館の事例報告を行った。



『みやぎ震災伝承』官民合同研修会」の様子

「第6回デジタルアーカイブ研究大会 in 仙台」の様子

(4) 震災伝承ネットワーク協議会・3.11 伝承ロード推進機構との連携

① 震災伝承ネットワーク協議会

東北地方整備局、被災 4 県及び仙台市で構成する震災伝承ネットワーク協議会において公募・登録を実施している「震災伝承施設」の登録数は次のとおり。

震災伝承施設登録数 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳			所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳		
		第 1 分類	第 2 分類	第 3 分類			第 1 分類	第 2 分類	第 3 分類
仙台市	22	10	8	4	亘理町	4	1	3	
石巻市	35	22	6	7	山元町	5	1	1	3
塩竈市	2		1	1	松島町	6	4	1	1
気仙沼市	16	9	3	4	七ヶ浜町	1		1	
名取市	8	2	3	3	大郷町	1	1		
多賀城市	2		2		涌谷町	2	2		
岩沼市	6	3	2	1	美里町	2	2		
登米市	7	7			女川町	2		2	
東松島市	8	7		1	南三陸町	3		1	2
大崎市	2	2			合計	134	73	34	27

※「震災伝承施設」の登録にあたっては、各施設を①震災伝承、②訪問しやすさ、③理解しやすさの点から、次のとおり 3 つに分類している。

第 1 分類：①だけを満たす施設、第 2 分類：①及び②を満たす施設、第 3 分類：①②③全てを満たす施設

② 3.11 伝承ロード推進機構

3.11 伝承ロード推進機構の事業と連動し、令和 3 年 1 月 15 日（月）に「防災・伝承セミナー in 宮城」を共催で実施したほか、推進機構が発行する機関誌への掲載など、広域的な震災伝承ネットワークの構築に向けた取組を推進した。（各種媒体の活用、ツアーの受け入れ等）



「防災・伝承セミナー in 宮城」の様子



機関誌「縁」Vol.1（創刊号）掲載

(5) 県教育委員会との連携

震災から10年が経過し、震災を経験していない子供が増加していることから、県教育委員会、市町村教育委員会と随時意見交換したほか、各圏域の教育事務所主催の小中学校校長会において伝承館の利用促進について説明した。

(6) みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターとの連携

伝承館をはじめとする県内伝承施設等を県外の修学旅行等のコースとしていただけるよう、みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター（以下「センター」という。）と随時意見交換を実施したほか、センターが発行する「宮城県教育旅行ガイドブック」冊子及び「みやぎ海への旅案内」サイトに伝承館の情報を掲載した。

(7) 伝承館の多目的スペース「思い致す場」での関係団体の取組

伝承館の多目的スペース「思い致す場」において、下記のとおり様々な団体が企画展や語り部講話等を実施した。

日付	内容	実施団体
令和3年7月16日（金） ～9月23日（月）	ど根性ひまわり 10 世笑顔の写真展	がんばろう！石巻の会
令和3年7月17日（土）	県内語り部プロジェクト（山元町：やまもと語り部の会 井上剛さん）	（公社）3.11 みらいサポート
令和3年8月1日（日）	県内語り部プロジェクト（東松島市：雁部那由多さん）	（公社）3.11 みらいサポート
令和3年10月9日（土）	県内語り部プロジェクト（七ヶ浜町：きずなFプロジェクト）	（公社）3.11 みらいサポート
令和3年10月10日（日）	学ぼう津波防災！ in みやぎ東日本大震災津波伝承館 伝承館と祈念公園「南浜・門脇ツアー」	宮城県（石巻観光協会）
令和3年10月16日（土）	県内語り部プロジェクト（女川町：一般社団法人健太いのちの教室）	（公社）3.11 みらいサポート
令和3年10月17日（日）	パネルシアター「東日本大震災を語り継ぐ 石巻門脇保育所 保育士さんと子どもたち」	東馬場亮二
令和3年10月24日（日）	学ぼう津波防災！ in みやぎ東日本大震災津波伝承館 伝承館と石巻市震災遺構モニターツアー	宮城県（石巻観光協会）
令和3年11月3日（水・祝）	学ぼう津波防災！ in みやぎ東日本大震災津波伝承館 伝承館と防災学習「ツナミリアル」	宮城県（石巻観光協会）
令和3年11月6日（土）	県内語り部プロジェクト（気仙沼市：けせんぬま震災伝承ネットワーク 尾形幹夫さん）	（公社）3.11 みらいサポート
令和3年11月7日（日）	学ぼう津波防災！ in みやぎ東日本大震災津波伝承館 伝承館と祈念公園「ガイドウォーク」	宮城県（石巻観光協会）

令和3年11月14日(日)	県内語り部プロジェクト(仙台市:NPO法人20世紀アーカイブ仙台 佐藤正実さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和3年11月15日(月)	令和3年度防災・伝承セミナーin宮城(WEBセミナー)	(一財)3.11 伝承ロード推進機構
令和3年12月4日(土)	県内語り部プロジェクト(東松島市:SAY'S 東松島 山縣嘉恵さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和3年12月13日(月)	「みやぎ震災伝承」官民合同研修会	宮城県・東北大学災害科学国際研究所
令和3年12月13日(月)	宮城ネットワーク交流会	3.11 メモリアルネットワーク
令和3年12月18日(土)	県内語り部プロジェクト(南三陸町:南三陸ホテル観洋 伊藤俊さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和3年12月21日(火) ～1月14日(金)	女川町パネル展～津波を乗り越え海と生きるまち～	宮城県(石巻観光協会)
令和4年1月9日(日)	語り部(女川町観光協会 阿部真紀子さん)	宮城県(石巻観光協会)
令和4年1月15日(土)～ 2月18日(金)	東日本大震災からの復旧・復興のパネル展	宮城県(土木部防災砂防課)
令和4年1月30日(日)	県内語り部プロジェクト(仙台市:震災遺構仙台市荒浜小学校 高山智行さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和4年2月5日(土)	県内語り部プロジェクト(岩沼市:千年希望の丘・現地語り部ガイド 渡邊良子さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和4年2月19日(土)	県内語り部プロジェクト(南三陸町:一般社団法人南三陸町観光協会 及川和人さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和4年2月23日(水・祝)	県内語り部プロジェクト(名取市:閑上の記憶 丹野祐子さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和4年2月25日(金)～ 3月9日(水)	アイリンブループプロジェクト活動パネル展	アイリンブループプロジェクト
令和4年2月26日(土)	復興五輪を振り返る! 聖火ランナーによる座談会	宮城県
令和4年3月5日(土)	県内語り部プロジェクト(名取市:一般社団法人ふらむ名取 格井直光さん)	(公社)3.11 未来サポート
令和4年3月15日(火) ～3月16日(水) 令和4年3月30日(水) ～3月31日(木)	東松島市パネル展	宮城県(石巻観光協会)

6 その他

(1) 避難訓練の実施

開館直前の令和3年5月26日（水）に公園管理者と合同で避難訓練を実施し、避難場所及び避難誘導方法等を確認した。

また、令和4年2月11日（金・祝）には、（公社）3.11みらいサポートと近隣町内会との合同避難訓練に参加した。

(2) 伝承館内覧会

日 時：令和3年6月5日（土）

内 容：伝承館の開館を6月6日に控え、近隣住民及び展示出演者の皆様を対象とした内覧会を開催した。

参加者：133人

(3) 伝承館開館式

日 時：令和3年6月6日（日） 午後1時から午後2時まで

内 容：1. 開 式 2. 黙 祷 3. 知事式辞 4. 来賓祝辞 5. 来賓紹介
6. 記念講演（がんばろう！石巻の会 事務局長，石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会会長 黒澤健一氏）
7. 閉 式

出席者：54人（沿岸市町長，県議会議員，国，伝承団体，地元関係者 等）

その他：15時から開館



(4) 来館者1万人達成イベント

令和3年8月5日（木）に累計来館者数が1万人に達したことから，1万人目の来館者に対し，記念品を贈呈した。

(5) 天皇、皇后両陛下によるオンライン視察

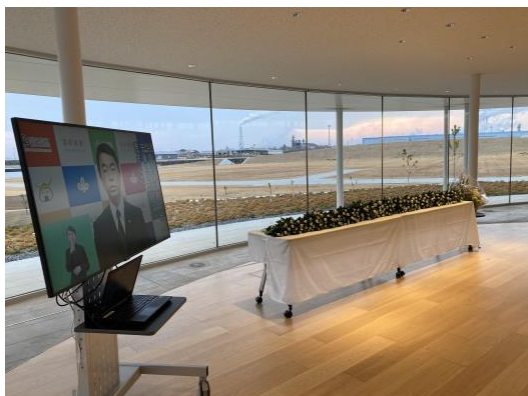
天皇、皇后両陛下が令和3年10月3日(日)、第40回全国豊かな海づくり大会への出席に併せ、伝承館をオンラインで御視察された。

(6) 内閣総理大臣の来館

岸田文雄内閣総理大臣が、令和3年10月16日(土)及び令和4年3月12日(土)に来館し、追悼及び展示の視察等を行った。

(7) 3月11日(みやぎ鎮魂の日)の取組

宮城県では、東日本大震災が発災した3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めているが、発災から11年目となる令和4年3月11日(金)に、来館者用の献花を用意するとともに、知事ビデオメッセージを放映し、来館者が黙とういただける場を設営した。



(8) 解説員研修

解説員の展示解説能力の向上を図るため、各地の震災伝承施設への訪問及び語り部講話の聴講等を随時実施した。

(9) 展示施設の維持管理

動作確認等の日常点検及び年2回の保守点検を実施した。

(参考) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要

(1) 基本情報

- ①名 称 みやぎ東日本大震災津波伝承館
- ②所 在 地 宮城県石巻市南浜町2丁目1-56 (石巻南浜津波復興祈念公園内)
- ③開館年月日 令和3年6月6日(日)
- ④開館時間 午前9時から午後5時まで(最終入館は午後4時30分)
- ⑤休 館 日 毎週月曜(祝日の場合は翌日), 年末年始(12/29~1/4), 祝日の翌日
※GW 期間を除く
※ただし, 毎月11日は曜日・祝日に関わらず開館する。
※令和4年度から月曜以外が祝日の場合は, 翌日開館する。
- ⑥入 館 料 無料

(2) 施設(建物情報)

- ①面 積 1,520㎡(うち, 展示面積765㎡)
- ②コンセプト 伝承館の建物は屋内直径40mの正円形の建物で, 屋根は林立する122本あるランダムな細い柱で支えられ, 建物周辺に植えられた樹林(マツ)が成長した際に連続した空間となるようデザインされています。外壁は全方位を見渡せるよう透明なガラス張りとしており, 屋内からの視線の先には, 日和山, 善海田稲荷, 石巻市震災遺構門脇小学校, 追悼の広場, 日本製紙工場の複数の煙突の煙などをとらえることができます。
また, 建物の一番高い北側の屋根の高さは6.9mで, この地を襲った津波が停滞したときの高さを体感できるようになっています。
- ③そ の 他 建物所有, 管理は国で行っています。

(3) 運営体制

宮城県復興支援・伝承課職員(東部地方振興事務所職員が兼務)が常駐しているほか, 県の委託した展示解説員が, 希望する団体・個人に対し展示解説を行っています。